



## 新年のご挨拶

中西 知

新年あけましておめでとございます。皆様方にとって令和七年(2025)が平穩で健やかな年となるようお祈りします。昨年は、当保存会の活動にご理解とご協力を戴いたお陰で、「今井町並み散歩」をはじめ各事業が順調に遂行できたこととありがたく思っています。そして今後も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 7年ぶりに公聴会開催

### 簡易宿所開設に向けて

11月30日(土)10時から今井地区公民館において「建築物の用途規制に関する例外許可に係る公聴会」を開催。

今井町は土地の用途地域が「第1種中高層住居地域」に指定されていて、宿泊施設として建物を使用することが原則不可の地域ですが、「良好な住居環境を害する恐

れがない」と認められて許可された場合は、宿泊施設として使用することが可能になります。そこで、このたび対馬まりさんから今井町二丁目の蓮妙寺西隣の2戸1長屋住宅の1戸を簡易宿所として利用するための申請に対して、住民の意見を聴取する場(公聴会)が設けられました。

公聴会には、主催者である檀原市建築安全推進課、今井町並み保存整備事務所等役所関係者約10人、申請者・設計者3人、自治会長等町民10数人が参加。申請者が簡易宿所開設の目的や理由、運営方法を説明した後で、質疑応答や町民から意見や要望の陳述が約1時間にわたって行われ、住民側からは反対意見はありませんでした。

コロナ禍以後、インバウンドが急回復して、役所への届け出だけで開設できる民泊が、地域住民との間で何かと問題になっています。

それにくらべて、簡易宿所は民泊とは異なり、法律的な手続きを経て、今回のような公聴会で住民の意見聴取ののちに当局から正式に許可されるものですから、住民にとってはより安心できる施設であるといえると思います。今後このような施設の利便が、今井町を愛する人の増加に繋がります。今井町の活性化に繋がっていくことを期待します。

## TV局の取材・撮影相次ぐ!!

◎12月14日(土)18時から始まるNHK番組「ほっと関西サタデー」の「ココホレ! 関西」のコーナーで、「まるごと文化財」町並みの法隆寺を探れ! というタイトルで約15分放送されました。

放送に先立ち、12月1日(土)、2日(日)の2日間にわたって取材収録されました。放送内容は、リポーターの荒山沙織さんと案内人の工藤桂市氏(当保存会副会長)と一緒に環壕や重文今西家をはじめ重文、民家等を巡って、今井町のキーワードとなる「寺内町」「環壕集落」「武装都市」「自治都市」の痕跡を探り、木造瓦葺の密集する町を大々なく400年も存続させた町衆の活動や今日も続く商売に注目します。◎テレビ東京番組「家、ついて行ってイイですか?」

この番組は、通常町中の一般の人に声をかけ、タクシー代あるいは買物代金を支払う代わりに家について行き家の中を見せてもらいその人の人生について話を聞く番組ですが、今回は、以前に家について行った人の夢を叶えようという企画で関西・今井町を訪れるという企画で12月4日(水)午後旧米谷家や今井まちや館で撮影。

出演者は、矢作兼、ビビる大木さんと狩野恵里アナウンサーに加えてゲストの方です。放送日は未定です。

## 第47回全国町並みゼミ東京大会

## 参加報告 (つづき)

前月号では、開会式・基調講演まで報告しましたので、今月は、つづきの「全国町並み保存連盟50周年記念トーク」について報告します。西村幸夫先生(國學院大学教授)の司会のもとで二つのテーマについて各団体から発表がありました。

一つ目のテーマは「これからもトップランナー(創立三団体の想い)」として、妻籠からは、電柱や看板のないきれいな景色、景観となったこと。海外の海外からの来訪者が増えているとのこと。50年で変わったこととは、集落を保存することが目的で観光的に利用するようになったことと住人がしていいこと、悪いことを自覚するようになったこと。有松からは、これまでの団体の設立経過、町並みゼミの開催、重伝建選定と日本遺産認定。そして有松の3つの宝である有松絞りと有松絞祭り、若い人たちの町家活用と有松絞を使った体験型観光創造、山車について。新たな取り組みである「有松を語ろう会」を設立し有松の課題と解決方法を検討していること。今井町からは若林相談役が保存への流れとして、文化庁などの動き、当初、町の人が無関心であったが今井町史の編纂をきっかけに、住民が

関心を持ち始め今井町を保存する会が発足したことや、文化庁建設省による今井町の調査、住民協



議会の発足、行政の働きかけなどの動きを経て重伝建に選定されたことの話と、保存会による様々な事業の実施を経て、町並み保存から活用へとその立ち位置を進め、周回遅れのトップランナーとして活動しているとの発表がありました。

二つ目のテーマは「連盟はこれでよいのか(ベテラン三人の提言)」をテーマとして、鞆の浦、小樽、臼杵から、古民家再生プロジェクトの活動、鞆の浦千年の歴史で何が重要なのかの認識の共有がないこと。運河保存から40年経過し活動記憶が薄れていくなか、新しい世代への引継ぎが重要であること。多くの観光客が来るが、町にとつて幸せなのか、安易な観光で良いのかという問いかけ。自分たちの地域だけでなく、他地域との連携、手伝い、協力が重要なことなどの発表がありました。

三つ目のテーマは「まちなみは私が守る(町並み活動家三人の決意)」がテーマで、

上越市、八島花、川越から、雁木通りのまちなみが減少傾向にあること。貸す人と借りた人との橋渡し役や日々の賑わい再生活動や地元小学生の総合学習での取り組み行っていること。これからは空き家再生からまちなか居住の促進をめざしていること。古い木造建物が多く危険なため、行政には全体的なまちづくり、景観を考えた町並みの考え方がなく、長屋が減少している状況にあること。防災と長屋が共存し何とか安全性と下町の環境が両立し、町並みが残せないか考え、新しい長屋を建築していること。観光客を対象としたイベント実施やオーバーツーリズム、地元商店の減少、観光地で見られる店の増加、減少していく歴史的建造物という課題についてと、許容できる観光の提言、保存し採算のとれる建物活用事業の進めていることについて発表がありました。

## 年末年始休館のお知らせ

今井まちなみ館 12月25日(水)～1月5日(日)  
重文旧米谷家 12月25日(水)～1月5日(日)  
今井囃子センター 12月25日(水)～1月6日(月)

## 年始行事予定

恵比寿祭 1月8日(水)10時～15時  
大とんど 1月14日(火)13時～16時